

<b>授業科目名</b>	人体構造機能学 (2300132)		
<b>時間割名</b>	人体構造機能学 (55201)		
<b>時間割担当</b>	高橋優三		
<b>実施期</b>	前期	<b>単位数</b>	2 必修
<b>曜日・時限</b>	金・5		

### 授業の目標・概要

人体構造機能学は生命科学の基礎となる重要な学問である。この後に続く疾病、治療、看護を理解するには人体の構造と機能の知識が不可欠である。人体構造学では、生命活動を支える人体の構造とその機能を統合して理解する。本科目では、生体の内部環境の維持にかかわる内容を中心に概説する。器官系ごとに人体の構造、機能やその調節の仕組みを解説する。細胞の構造と機能、呼吸・血液系、循環系、体液・腎臓系、消化器系、内分泌系などについて講義する。

### 学習の到達目標

総論的には、学ぶ楽しみと学ぶ方法を知り、自力で成長する生涯学習能力を得る。  
具体的な目標は、毎回の配布資料、並びに試験案内に記載。

### 授業方法・形式

配布資料に基づいてグループ学習、ミニ講義

### 授業計画

- 1．細胞の増殖
- 2．核酸と蛋白の合成
- 3．循環器 血圧の調整
- 4．循環器 心臓の位置と形態
- 5．血液循環
- 6．血液
- 7．呼吸
- 8．代謝
- 9．生体のリズム 内部環境の恒常性
- 10．体液の調節
- 11．腹部消化管の機能
- 12．肝臓膵臓の機能
- 13．腎臓の機能
- 14．男性女性生殖機能
- 15．生殖細胞と受精 老化のメカニズム

### 成績評価の基準

出席点とペーパーテストの点の合計点。

### 準備学習・復習及び授業時間外の課題

準備学習は不要。復習や時間外学習は、授業中にでた疑問に基づいて自主的に行う。

### 履修上のアドバイス及び留意点

グループ学習に慣れる。  
大学生を大人として見做すので、全ての行動に自己責任を持つべし。

### 教材・教科書

解剖生理学 人体の構造と機能 (医学書院)

### 参考書